

	新潟大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	医学部保健学科（第1年次：160名、第3年次：20名） 看護学専攻（第1年次：80名、第3年次：10名） 放射線技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名） 検査技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名） 保健学研究科保健学専攻（M：20名、D：6名）
沿革・設置目的	新潟大学医学部附属病院厚生女学部及び同附属病院助産婦養成科を経て新潟大学医療技術短期大学部が設置された後、平成11年、看護学、放射線技術科学及び検査技術科学に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。  昭和24年（1949年） 新潟大学設置 昭和49年（1974年） 新潟大学医療技術短期大学部設置 平成11年（1999年） <u>医学部保健学科設置</u> 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行 平成16年（2004年） 大学院保健学研究科（修士課程）設置（平成19年（2007年）博士後期課程を設置）
強みや特色などの役割	○ 新潟大学の理念等に基づき、人道的倫理観を身につけ、看護学、放射線技術科学、検査技術科学の科学的意義と役割を学問的に追求し、多くの医療専門職者や行政等との協働により、地域医療や国際医療で活躍できる医療者、及び研究者・教育者を育成する。  ○ 医療アクセスに地理的困難を抱える新潟県において、自立した対応を行うことができる高度な専門的実践能力を持つ看護師等を育成する。工学系分野や附属病院と連携した、臨床実践能力向上と教育指導者育成のための取組を積極的に推進する。  ○ 工学部、歯学部を含む学内部局、附属病院、地域の企業、医療施設や国内外の大学等との共同研究を推進し、地域保健に寄与するとともに、地域発の研究成果を世界に向けて発信（グローバル展開）する。